２０２０年８月３１日
株式会社　愛　知　銀　行

「IT ものづくりブリッジ人材育成トライアル」の受講生募集について

中部経済産業局が開催する「IT ものづくりブリッジ人材育成トライアル」に、当行は講師派遣するとともに受講生募集にも協力致します。

本トライアルは、IT、IoT を用いたものづくり現場の課題発掘・課題解決を行う人材、及びこの取り組みを継続的に実施し、さらなるステップアップが出来る人材の育成を念頭に、現場の課題解決に係る実践活動に必要なリテラシー･スキルの基礎を習得することを目的としています。

【トライアルの概要】

主催	経済産業省　中部経済産業局
運営事務局	三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング㈱
統括プロデューサー	名古屋工業大学　社会工学科経営システム分野　教授　荒川雅裕氏
講師協力	㈱愛知銀行、㈱テクノア、㈱デンソー、㈱日進工業
講義日程	2020.10/10～12/12 までの毎週土曜日（全１０回）
対象者	製造業企業において生産技術・製造等の業務に携わり、 現場の課題発掘や課題解決を実行できる立場にある者、その候補者
定員	20 名（定員を超える場合は選考により決定）
会場	名古屋工業大学（名古屋市昭和区御器所町）
費用	無料
申込方法	https://questant.jp/q/itmb からエントリー
申込締切	2020 年 9 月 15 日（火）17:00
その他	コロナ禍を鑑みオンライン講義へ変更する場合があります。 受講に伴い発生する交通費、通信費等は自己負担となります。

※　詳細は別紙チラシをご参照ください。

※「中部経済産業局ウェブサイト」のリリース情報は下記 URL からご参照ください。
https://www.chubu.meti.go.jp/b21jisedai/200828/200828index.html

以　上

「ＩＴ×ものづくり」の知識を習得し、現場経験と工夫で工程改善。
ものづくり東海に、いま最も必要とされる人材！

経済産業省
中部経済産業局

ITものづくりブリッジ人材育成トライアル受講生募集

受講無料

ＩＴ、ＩｏＴを用いたものづくり現場の課題発掘・課題解決を行う人材、及びこの取り組みを継続的に実施し、さらなるステップアップが出来る人材の育成を念頭に、現場の課題解決に係る実践活動に必要なリテラシー・スキルの基礎を習得する研修プログラムです。

全10回（2020.10.10(土)～12.12(土)毎週土曜開催）

内容：裏面参照

定員　20名　※定員を超える申込があった場合には選考によります

対象　製造業種企業においての生産技術・製造等の業務に携わり、現場の課題発掘や課題解決を実行できる立場にある者、又はその候補者

会場　名古屋工業大学（愛知県名古屋市昭和区御器所町）

※　新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当該期間における集合型研修の実施が困難と事務局が判断した場合、オンラインによる開催に変更する場合があります。

※　講座受講費は無料ですが、受講に伴い発生する、交通費、インターネット端末や通信費等は自己負担となります。オンライン開催となった際、土曜開催である旨念頭に、ご自宅等受講場所のインターネット接続契約等の環境等にご注意ください。

申込締切：2020年９月１５日（火）17：00

申込方法：下記URLへアクセスし、必要事項を入力のうえエントリー
https://questant.jp/q/itmb

【お問い合わせ先】
運営事務局：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株）
政策研究事業本部　研究開発部　担当：平川、河合、林
e-mail：itmb@murc.jp
TEL：052-307-0917、052-307-0937

受講要件・選考基準

- □　原則、講座全コマへの出席が可能であること。
- □　マスク着用、来場前の検温など、新型コロナウイルスの感染予防と拡大防止に協力すること。
- □　オンライン開催に変更となった場合、対応できるweb環境が準備出来ること。
- □　トライアルを通じて得た他社の機密情報等の漏洩を禁じる旨、同意できること。
- □　各講座後のアンケート・ヒアリングや、講座終了後におけるフォローアップ調査への協力が可能なこと。
- □　選考にあたっては上記要件を踏まえた上で総合的に判断のうえ、申込先着者を優先致します。

ものづくり現場での課題解決フローに沿った実践的カリキュラム構成と、多彩な講師陣による指導で短期間での基礎習得を目指します。

工程把握 → 課題発掘 → 原因分析に必要なデータの検討・収集 → 収集データを用いた要因分析・対応策検討 → 対応策の実現に向けた多面的な検討 → 課題解決

製造業へのIoT導入や生産管理に知見を持つ専門家を統括プロデューサーにお迎えし、ＩＴベンダーの技術営業マン、ＩＴ導入により生産性向上を実現した中小企業経営者、現場において高度な工程改善活動を実践する大手メーカーの技術者、地域企業の生産性向上を資金面から支援する金融機関の営業マン等、ものづくり現場のＩＴ化に携わる様々な立場の現役トップランナーがカリキュラムを彩ります。

トライアル統括プロデューサー

国立大学法人名古屋工業大学
社会工学科経営システム分野　教授

荒川雅裕 氏

名古屋工業大学　社会人教育カリキュラム「工場長養成塾」塾長
名古屋市ロボット・AI・IoT人材育成事業「専門人材育成講座」講師

【略　歴】　関西大学　環境都市工学部・都市システム工学科　教授
マサチューセッツ工科大学　客員研究員
青山学院大学　客員研究員
現　日本経営工学会・中部支部支部長
現　日本設備管理学会・東海支部支部長

講師協力

株式会社愛知銀行、株式会社テクノア、株式会社デンソー、株式会社日進工業

日程	テーマ	1時限目 9:15～10:45	2時限目 11:00～12:30	3時限目 13:30～15:00	4時限目 15:10～15:40
第1回 10/10(土)	工程把握	オリエンテーション		生産工程の把握	知財(1) 営業秘密
第2回 10/17(土)	課題発掘	生産管理の基礎と管理データの種類		ムリムダの発見活動	知財(2) データ保護
第3回 10/24(土)	データの検討・収集	IT、IoT機器の品揃え概観	IT、IoT機器の活用	IT活用事例の共有とメリットの理解	知財(3) ノウハウ保護
第4回 10/31(土)	総合演習	中間総合演習(1)			
第5回 11/7(土)	総合演習	中間総合演習(2)			
第6回 11/14(土)	要因分析・対応策検討	「業務プロセス」を疑え!	IT、IoT機器・デバイスの現状	費用対効果の検討	知財(4) 保護・活用
第7回 11/21(土)	要因分析・対応策検討	分析に向けたデータの可視化と読み方	対応策アイデア創出に向けて「知識の引き出し」を広げる		知財(5) 保護・活用
第8回 11/28(土)	対応策実現のための多面的な検討	工程改善に当たっての障壁の実感	実際の工程改善シーンで起こること		知財(6) 保護・活用
第9回 12/5(土)	総合演習	最終総合演習(1)			
第10回 12/12(土)	総合演習	最終総合演習(2) 修了式			

※４時限目以外は「ITものづくりブリッジ人材（Aタイプ）」産学連携カリキュラムに記載の「講義のねらい」を踏まえた内容とします。
（カリキュラムURL）https://www.chubu.meti.go.jp/b21jisedai/200521/200521index.html
※※上記内容は募集段階における予定を記載したものです。研修の進捗・運営上の都合により随時変更が生じる可能性があります。